東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに

Vol.42　第2076回例会　2009.5.14

今年度会長テーマ

（あい）に感謝　そして　実践しよう
ロータリーの志魂（こころ）

■司会：
當間例会運営委員長

■点鐘：町田会長

■合唱：ロータリーソング
「我らの生業」

◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
神﨑パスト会長

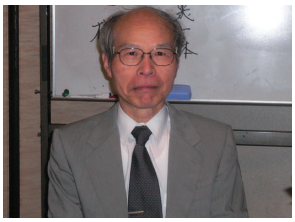
◆ゲスト：津久井ＲＣ
山本芳昭様

◆ゲスト：米山奨学生
宋へ珍様

◆ゲスト：東村山交通
少年団団長
山田修様

◆ゲスト：東村山消防
少年団団長
宇嶋吉樹様

◆ゲスト：東京大学
名誉教授
正路徹也様



■会長報告　町田会長

北山公園のしょうぶは大変知名度が年々上がってきて市内外から大勢の人々が今年も来られると予測しておりますが、しょうぶとはアヤメの古き呼び方であります。
5月5日、子供の日の端午の節句は過ぎましたが、この節句に飾る花がアヤメです。菖蒲（アヤメ）を使ったことわざに「六日のあやめ」というのがあります。時機に遅れ、役に立たないことや集合時間や出発時間に遅れて来た人に使いますが、「六日のしょうぶ」では、なんとなく違和感をおぼえます。いずれが「あやめかかきつばた」ということわざがあります。また、9月9日の菊の節句の翌日の菊の花という意味で「十日の菊」という言葉を合せて「六日のあやめ、十日の菊」ということわざもあります。このような花をつかった日本古来の上品で美しい言葉があまり使われなくなったということは日本の美しい文化がまた一つ無くなっていくのかなと思うところであります。
以上で会長の話といたします。ありがとうございました。

■幹事報告　相羽幹事

■ガバナー事務所：
・ロータリー財団地域セミナー(Zone1,2,3)開催のお知らせ
2009年7月2日(木)
登　　録　8:00～
セミナー　9:00～
於　グランドプリンスホテル高輪

・沖縄分区クラブ国際奉仕室関係委員長会議開催の案内の受理
2009年6月17日(水)
登録　14:00～
会議　14:30～
於　ホテルロイヤルオリオン

■対人地雷除去委員会：
第4回特別委員会開催日程について
6月17日(水)→6月29日(月)
15:00～17:00

■青少年交換委員会：
2008～09年度青少年交換来日学生帰国前報告会
来日学生･派遣予定学生合同歓送会
6月7日(日)
登録 15:00～　1部 15:30～
於　ホテルメトロポリタン

■拡大増強委員会：
次年度地区会員増強セミナー事前打合せの案内
2009年5月28日(木)
13:00～　事前打合せ
14:00～　セミナー
於　ホテルグランバレス

■ロータリー財団委員会：
新旧合同地区ロータリー財団委員会及び
新旧委員歓送迎会開催の案内について
2009年6月15日(日)　15:30～
於　石福金属興業(株)

■回覧：
「友」インターネット速報 No.380
バギオだより
ハイライトよねやま

■出席報告　吉川例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
41	32	1	8	78.95

■前々回メークアップ
修正後前々会欠席：5名

■前々回出席率メークアップ修正後：86.84%

■前々会メークアップ者：
木下会員；青梅ＲＣ
北久保会員：所沢西ＲＣ
二ノ宮会員：地区協議会
野村会員：地区財団委員会
竹田会員：地区米山委員会

■ニコニコＢＯＸ　肥沼クラブ管理委員

◆皆出席：
金子会員(8回目)
吉川会員(1回目)

◆会員誕生祝月：
山本会員

◆山 田 様：いつもお世話になり、ありがとうございます。
◆宇 嶋 様：いつもお世話になり、ありがとうございます。
◆竹田会員：皆様、ソン･ヘジンさんロータリーデビューです。正路先輩、今日は卓話ありがとうございます。
◆山 本 様：いつもありがとうございます。
◆目時会員：写真ありがとうございます。

本日のニコニコ合計：　21,000円
累　　計　：1,544,864円

■委員長報告

■野村青少年奉仕委員長

地区青少年育成委員会より「中学生職場体験報告書」の提出のお願いがきています。今年度(2008～2009)における中学生を受け入れた会員企業があれば、報告書式がありますので野村まで申し出てください。
当ホテルでは去年10月30日～31日の2日間、第3中学校より女子3名、男子1名を受け入れました。

■樺澤国際奉仕委員会
オン･ツー･バーミンガム小委員会委員長

国際ロータリー第2580地区からは、地区オン･ツー･バーミンガム結団式(趣旨不明確)の案内は戴いており、出席の予定をしておりました。しかし、緊急の課題である新型インフルエンザについては地区からは平成21年5月13日まで何らの対応、連絡がありませんでした。
そこで、平成21年5月13日午後4時30分から、(株)阪急交通社の原慎弥様と新型インフルエンザについて、(株)阪急交通社の対応を詳細に聴取し、対策について協議いたし、また、バーミンガムにおける具体的な旅程調整を行いました。
そして、特に新型インフルエンザについて打ち合わせをした内容を皆様にお伝えしようと本書を作成している途中に、戸澤分区幹事様より多摩分区はバーミンガム国際大会に不参加と決定したとの電話がありました。そして、当クラブ以外のクラブ会員の皆様は不参加であるとの連絡がありました。
多摩分区は不参加の意味は理解できませんが、現実に不参加者が多ければ、オン･ツー･バーミンガム･ツアーは成り立ちませんのでキャンセルせざるを得ないと考えます。
このオン･ツー･バーミンガム･ツアーをキャンセルすれば、現時点では、(株)阪急交通社はイギリスについては、ツアー中止地区になっておりませんので、解約料を(株)阪急交通社から請求されます。また、バーミンガム国際大会の登録料も返還されないと思料されます。
以上の事情をご賢察の上、オン･ツー･バーミンガム･ツアーを中止することをご了承下さい。不参加の解約は早ければ早いほど低料金になると思料します。
なお、当クラブと関係なく、個人的に国際大会に参加されることはご自由です。

■田中ゴルフ部部長

明日5月15日青梅ゴルフ倶楽部にてＦＲＣゴルフコンペが開催されます。お忙しい中当クラブより10名の参加を頂きました。ありがとうございます。親睦と友情を深めて参ります。よろしくお願いします。

■高橋(眞)次年度幹事

次年度炉辺会合を以下の日程で行います。

■5月20日(水)
18:30～　いちまつ
クラブ奉仕委員会　　例会運営委員会
プログラム委員会　　クラブ管理委員会
会員増強委員会　　会員研修委員会

■5月23日(土)
18:30～　いちまつ
職業奉仕委員会　　社会奉仕委員会
青少年奉仕委員会　　国際奉仕委員会
青少年交換委員会　　ロータリー財団委員会
米山奨学会委員会

■卓話

■卓話者紹介：竹田会員

■卓話者：
東京大学名誉教授
正路徹也様

資源と環境は表裏一体

人類生活に不可欠な鉱物およびエネルギー資源を供給する鉱床は、45.5億年の地球の歴史における物質循環の過程で生成した。鉱床は現在も各種の地質過程で生成しているが、人類はその生成速度をはるかに超える速度で資源を消費している。このため、これらの資源の量は有限である。また、この人類による消費速度が地質過程における物質循環に較べてはるかに速いため、環境問題が生じた。

地球は、誕生後数億年以内に内部から表面に運ばれたH_2O、CO_2、N_2などの揮発成分を主とする流体圏を形成した。この流体圏が気圏と水圏に分れ、水圏に生命が発生した。生物体の化学組成をグルコース$(C_6H_{12}O_6)n$で近似すると、生物体が生成する化学反応は、$nH_2O+nCO_2\rightarrow(C_6H_{12}O_6)n+nO_2$と書ける。また、岩石が風化されて造岩鉱物から溶出したカルシウムイオンCa^{2+}が水中の炭酸水素イオンHCO_3^-と結合すると、石灰岩の主成分である方解石(あるいは霰石)$CaCO_3$が沈殿する($Ca^{2+}+HCO_3^-\rightarrow H^++CaCO_3\downarrow+nO_2$)。このような過程で、二酸化炭素$CO_2$は流体圏から固体圏に移るとともに、酸素$O_2$が気圏の主成分となった。鉄には2価と3価のイオン(Fe^{2+}とFe^{3+})がある。このうち3価の鉄イオンは酸素と結合して、磁鉄鉱Fe_3O_4や赤鉄鉱Fe_2O_3として沈殿する(それぞれ、$3Fe^{2+}+1/2O_2+3H_2O\rightarrow Fe_3O_4\downarrow+6H^+$と$2Fe^{2+}+1/2O_2+2H_2O\rightarrow Fe_2O_3\downarrow+4H^+$)。このようにして生成した鉄鉱層が、現在鉄資源の90%以上を供給している。生物が死んで地中に埋もれ、地熱による脱水作用$(C_6H_{12}O_6)n\rightarrow 6nC+6nH_2O$あるいは脱二酸化炭素作用$(C_6H_{12}O_6)n\rightarrow 3nCH_4+3nCO_2$を受けると石炭(Cで近似)や石油($CH_4$で近似)が生成する。

地球の歴史のほとんどを通じて、地殻を構成する物質は、太陽起源のエネルギーによる侵食－堆積作用で陸から海へ運ばれるとともに、地球内部起源のエネルギーによるプレート運動で海底から大陸へ付加され、全体として循環してきた。この循環過程の一部で、上述したように鉱物およびエネルギーの鉱床が形成された。これらの鉱床は採掘されて、資源として利用される。利用の終わった資源は、再び自然界に破棄される。この鉱物資源およびエネルギー資源の採掘から廃棄物までの物質の流れは、地球における侵食－堆積という自然過程に挿入されたバイパスと見ることができる。このバイパスの流束が自然過程の流束に較べて無視できないほどに太くなったのが環境問題である。人類による石灰岩、鉄、石炭、石油の消費は、上記の地質時代における鉱床の生成過程に対する逆反応の実行である。したがって、地球史の観点から資源と環境は表裏一体として捉える必要がある。

人類社会に供給された資源は、工業過程で姿を変えながら消費者までは、金(かね)と逆方向に流れる。これに対し、現在の経済システムでは、消費者から廃棄までは物と金が同方向に流れている。これは、環境経費がほとんど払われていないことによる。これに対し、人類の生存に不可欠の環境保全のためには、環境経費を確実に支払う必要がある。そのため1つの方策として、環境経費を担保金として資源の供給口で徴収することが考えられる。この方法を適用すると、資源の供給から廃棄までの全過程で物と金とを逆方向に流れ、環境保全に有効な制度を確立することができると期待される。

■21年4月出席表

	氏　名	2	9	16	23	30	
名	細渕　一男						
1	相羽　正	○	○	△	○	○	100
2	赤木　盛一		○	○	○	○	80
3	土方　義一	○	○	○	○	○	100
4	細渕　清	○	○				40
5	飯田　能士	○	○		○		60
6	石山　敬	○	○	○	△	○	100
7	樺澤　襄	○	○	○	○	○	100
8	金子　哲男	○	○	○	○	○	100
9	神崎　武	○	△	○	○	○	100
10	木下　清一	○	○	△	○		80
11	北久保眞道	○	△	○	○		80
12	熊木　敏己	○	△	○		○	80
13	肥沼　義則	○	○	○	○	○	100
14	小町　幸生	○	○	○	○	○	100
15	町田　清二	○	○	○	○	○	100
16	溝井　英征	免除	免除	免除	免除	免除	免除
17	目時　俊一	○	△	○	△	○	100
18	村越　政光	○	○	○			60
19	村田　秀雄			○	○	○	60
20	中丸　繁男	○	○	○	○	○	100
21	二ノ宮　繁	○	○	○	○	△	100
22	野村　高章	○	○	○	○	△	100
23	野崎　一重	○	免除	○	○	○	100
24	野崎　征吉	○	○	○	△	○	100
25	野澤　秀夫	○	○	○	○	○	100
26	大仁田隆義						0
27	嶋田　憲三	○	○	○	○	○	100
28	杁山　佳雄	○	△	○	○	○	100
29	高橋　徹	○	○	○	○	○	100
30	高橋　眞	○	○	○	○	○	100
31	竹田　光明	△	△	○	○	△	100
32	田中　重義	○	○	△	○	○	100
33	土田　士郎						0
34	當間　眞	○	○	○	○	○	100
35	當麻　誠	○	○	○	○	○	100
36	戸澤　忠	○	○	△	△	○	100
37	漆原　次男	○	○	△	△	○	100
38	山本　智治	△	○	○	○	○	100
39	吉川　武男	○	○	○	○	○	100
公式平均		89.47	91.89	89.47	89.47	86.84	89.43
出席規定適用免除者							
1	隅屋　宜一	○	○	○	○	○	
2	五十嵐光利	○	○	○	○	○	

名：名誉会員　○：出席　△：メークアップ

■点鐘：町田会長